

## 麦類赤かび病の防除の徹底について

本年産麦類の生育は、現在のところ平年より早く推移しています。県農業研究所作況試験データ（11月第5半旬播種）などから、穂揃期は平年より早いと予想されます（スカイゴールデン：4月第2半旬頃、小麦：4月第3半旬頃）。二条大麦では蒴殻が押し出されて来る時期（穂揃期の10日後ごろ）、小麦では開花期以降は本病に感染しやすい状況となり、曇雨天が続く場合には発生が助長されます。本病に対する薬剤散布は病原菌の感染前が効果的であり、感染後では効果が劣りますので、散布適期を逃さないよう万全を期して下さい。

### (1) 薬剤による防除法

薬剤散布は、大麦（閉花受粉性）では穂揃期の7～10日後頃（蒴殻抽出期）の防除を必須とし、その前（7～10日）又はその後（7～10日）と組み合わせた、合計2回を基本とする。小麦（開花受粉性）では開花最盛期（出穂7日後頃）とその7～10日後の2回行う。下表から薬剤を選定し、農薬使用基準に従って散布する。

### (2) 防除上の参考事項

- 岡山県における二条大麦の穂揃期（全茎の80～90%が出穂した日）は、出穂始（始めて穂先が葉鞘から現れた日）からおおよそ5～7日後であり、天候や品種によって前後するので注意する。
- 六条大麦の薬剤による防除法は、小麦に準ずる。
- 大麦及び小麦の開花最盛期から20日を過ぎると防除効果が低下する。
- 小麦を除く麦類では、トップジンM粉剤、水和剤及びゾルでは出穂期以降1回しか使用できないので注意する。
- 収穫後は速やかに乾燥する。

### (3) 麦類赤かび病の防除薬剤

表1 無人航空機による散布の登録がある主な薬剤（令和6.3.13現在）

系統名	殺菌剤コード	薬剤名	農薬使用基準		
			希釈倍数	使用時期	使用回数
MBC	1	トップジンMゾル	8倍	収穫14日前まで(小麦)	3回以内（出穂期以降は2回以内）
				収穫21日前まで〔麦類(小麦を除く)〕	
DMI	3	シルバキュアフロアブル	16倍	収穫7日前まで(小麦) 収穫14日前まで(大麦)	2回以内
		ワークアップフロアブル	10～24倍	収穫7日前まで	
SDHI	7	ミラビスフロアブル	8～16倍	収穫7日前まで(小麦)	2回以内
				収穫14日前まで(大麦)	

殺菌剤コード：FRAC (<https://www.jcpa.or.jp/labo/mechanism.html>) による農薬有効成分の作用機構の分類。同一のFRACコードの薬剤については、耐性菌の発達を回避するため、連用を避ける。

表2 麦類赤かび病に登録がある主な薬剤（令和6.3.13現在）

系統名	殺菌剤コード	薬剤名	農薬使用基準		
			使用量・希釈倍数	使用時期	使用回数
無機化合物	M2	サルファーゾル	400倍	発病前～発病初期	-
		コロナフロアブル	400倍	-	-
		イオウフロアブル	400～800倍	発病前～発病初期	-
MBC	1	トップジンM粉剤DL	3～4kg/10a(小麦)	収穫14日前まで	小麦： 3回以内 (出穂期以降は2回以内)， 麦類(小麦を除く)： 3回以内 (出穂期以降は1回以内)
			4kg/10a〔麦類(小麦を除く)〕		
		トップジンM水和剤	1,000～1,500倍	収穫14日前まで(小麦)	
			250倍 ※	収穫30日前まで〔麦類(小麦を除く)〕	
		トップジンMゾル	1,000～1,500倍(小麦)	収穫14日前まで	
			1,500倍〔麦類(小麦を除く)〕		
DMI	3	トリフミン水和剤	1,000～2,000倍	収穫14日前まで	3回以内
		トリフミン乳剤	1,000倍(小麦)	収穫3日前まで	
		シルバキュアフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで(小麦)	2回以内
			500倍 ※		
		ワークアップ粉剤DL	2,000倍	収穫14日前まで(大麦)	3回以内
			3kg/10a		
ワークアップフロアブル	2,000～3,000倍	収穫7日前まで			
	500～750倍 ※				
QoI	11	ストロビーフロアブル	2,000～3,000倍	収穫14日前まで	3回以内
			500倍(小麦) ※		
SDHI	7	ミラビスフロアブル	1,500～2,000倍	収穫7日前まで(小麦)	2回以内
			250～500倍 ※		
			1,500～2,000倍	収穫14日前まで(大麦)	

殺菌剤コード：FRAC (<https://www.jcpa.or.jp/labo/mechanism.html>) による農薬有効成分の作用機構の分類。同一のFRACコードの薬剤については、耐性菌の発達を回避するため、連用を避ける。

注：※は散布水量が25L/10a。

**農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。**

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

